

1. 「開かれた総合水試」いきいき情報発信事業

企画開発推進室

コンピュータシステムを活用して、水温情報、漁獲情報、魚病情報など、水産研究にとって有用な各種情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」をモットーに、蓄積された情報や試験研究成果等の発信に努めた。

また、専門的な研究情報の提供と、漁業現場等のニーズの把握を目的に、移動総合水産試験場（出前水試）を開催した。

I. 試験研究情報の収集

1. 魚病情報データベース

県下各地の魚病発生情報を収集し、データベースに155件を新たに登録した。

魚病データベース登録件数 累計4,720件

2. 海況データベース

県下各海域の海況情報を収集し、データベースに12,493件を新たに登録した。

海況データベース登録件数 累計347,411件

II. 試験研究情報の発信

1. インターネットによる情報発信

開設しているホームページ上で、以下の情報を提供した。（主な内容）

○総合水産試験場の施設の紹介

○漁海況情報

○水温情報

○最新の試験研究話題

○マリンラボニュース

○トピックス

○インターネットマムパーク 等

平成27年度のアクセス件数 計 19,167件

2. FAX情報サービス

FAXによる情報サービスを行い、以下の情報の発信を行った。

○漁海況情報

○赤潮情報

情報発信件数

計 5,636件

3. 情報誌の発行

平成28年3月に「最近の主な成果(平成27年度版)」を発行し、漁協等関係機関へ配付した。

III. 移動総合水産試験場の開催

漁業者等への研究成果の提供と、試験研究への現場ニーズの反映を目的に移動総合水産試験場(出前水試)を開催している。平成27年度は、より専門的に細かく現場のニーズを把握するため、地区や部会等の要望に応じて開催することとして、次のとおり県内5地区で11回を開催した。

○平戸市志々伎町

平成27年4月7日開催 50名

○対馬市豊玉町

平成27年9月30日 20名

○対馬市美津島町

平成27年11月12日 36名

○平戸市鏡川町

平成27年11月17日 27名

○松浦市鷹島町

平成27年11月20日 17名

○松浦市御厨町

平成27年11月24日 17名

○新上五島町有川郷

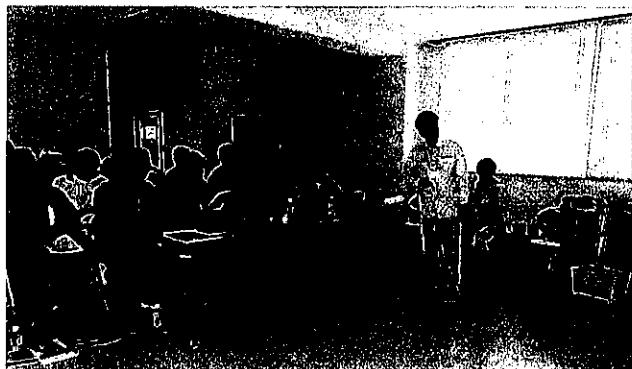
平成27年11月26日 20名

○長崎市五島町

平成27年11月27日 65名

○長崎市筑後町	
平成27年12月12日	60名
○五島市福江町	
平成28年2月10日	10名
○雲仙市小浜町	
平成28年2月17日	24名
○新上五島町若松郷	
平成28年2月24日	17名
	参加者合計 363名

なお、各会場とも総合水産試験場の試験研究に対する多くの意見、要望等が寄せられ、非常に有意義な催しとなった。



「出前水試」の様子
(平成27年11月12日 対馬市美津島町にて)

IV. その他

1. ながさき水産科学フェアの開催

新長崎漁港地区の国際海洋総合研究ゾーンに隣接して設置された国立研究開発法人 水産総合センター西海区水産研究所※、国立大学法人 長崎大学大学院水産・環境科学研究科附属 環東シナ海環境資源研究センター**との共催で平成27年10月18

日に「第13回ながさき水産科学フェア」を開催した。

※現 国立研究開発法人 水産研究・教育機構
西海区水産研究所（平成28年4月1日付）
※※現 国立大学法人 長崎大学 海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター（平成28年4月1日付）

三機関では、研究機関の地域貢献を目的に、施設の一般公開や各種体験型イベントを実施するとともに、サイエンスカフェを開催した。

当日の参加者は約1,000名で、三機関の試験研究活動や水産業・海洋への興味と理解を深めていただいた。



第13回水産科学フェア
(かまぼこづくり体験) の様子

2. 広報活動

試験研究で得られた成果を、漁業者をはじめ県民に広く伝達し、その普及を図ることを目的に、記者室投げ込み、取材対応等の広報活動を行った。

平成27年度広報活動件数 55件
(担当: 松村・岡山)